

## 小学校における「47都道府県の名称と位置」を工夫してみたら…

新小学校学習指導要領の実施にともない、小学校3、4年生において「47 都道府県の名称と位置」を学習することとなりました。

このことについて、小学校学習指導要領解説社会編（P44）には、次のように記述されています。

「47都道府県の名称と位置」を調べるとは、我が国が47の都道府県によって構成されていることが分かり、都道府県の名称と位置を一つ一つ地図帳で確かめ、日本地図（白地図）上で指摘できるようにすることである。

（中略）

なお、47都道府県の名称と位置については各学年においても指導し、小学校修了までには確実に身に付け、活用できるようにする必要がある。（下線引用者）

既に各学校においては、指導されているわけですが、「暗記」を念頭においた指導が行われていませんか？

小学校の中学年において、「暗記」を中心に学習を進め、その時点では知識として身につけたとしても小学校修了段階で活用できるかどうかについては疑問です。

そこで、小学校修了段階で活用できるまでに育てるために、以下のような取り組みはいかがでしょうか？

### 例1：「お国自慢」（仮称）発表タイム



#### ○ 内 容

- ・ 社会の時間の導入で「お国自慢」（仮称）として、都道府県の特徴を発表し、位置を確認する。（6年生まで継続）

#### ○ 方 法

- ・ 毎時間1、2名が自分で調べた各都道府県の特徴を1つ発表する。
- ・ 都道府県の特徴とは → ① 自然（地形や気候）  
（先生の判断で） ② 産業（農作物、工業製品、特産物等）  
③ 文化（言葉、衣食住の習慣等）  
④ 歴史（文化遺産、歴史上の人物等）  
⑤ その他（交通、貿易等）
- ・ 必ず地図を使って場所を確認する。
- ・ できれば、一人一人に日本の白地図を用意し、書き込ませる。
- ・ 47 都道府県が埋まったら、ノートに貼る（ファイルする）。

## 例2：掲示板「都道府県コーナー」（仮称）



### ○ 内 容

- ・ 日本の白地図（都道府県が記入してあるもの）を掲示板に拡大して貼り、都道府県の位置と名称を確認しながら特色を記入する。

### ○ 方 法

- ・ 全ての都道府県に特色が記入できるまで貼っておく。
- ・ 原則、自由に記入できることとする。
- ・ 必要に応じて、教師が指名したり、班ごとに記入させたりする。
- ・ 全ての都道府県に特色が記入されたら、デジカメで撮影して縮小版を掲示する。
- ・ 次の白地図を貼る。

※ 授業外の活動で、47 都道府県の名称と位置についての意識化を図る。

## 例3：カルタづくり&カルタ遊び



### ○ 内 容

- ・ 47 都道府県の特色を記入したカルタづくりを行い、出来上がったカルタは、室内ゲームの1つとして自由に遊びに活用する。

### ○ 方 法

- ・ 47 都道府県の特色について、知っているものを付箋に記入させる。
- ・ 不足している都道府県については、再度調べて決定する。
- ・ 一人3枚程度を割当て、イラスト入りのカルタを作成する。
- ・ 合計3セットの都道府県カルタを作成し、休み時間のゲームとして活用するとともに班対抗のカルタ大会等を実施し、学活等でも活用する。

## 例4：すごろくづくり&すごろく遊び



### ○ 内 容

- ・ 47 都道府県の特色を記入したすごろくづくりを行い、出来上がったすごろくは、室内ゲームの1つとして自由に遊びに活用する。

### ○ 方 法

- ・ 地図を活用して、北海道をスタート、沖縄県をゴールとしたすごろくをつくる。
- ・ 「特産物等をゲットしたら〇〇コマ進む」「富士山で吹雪に遭い〇〇コマ戻る」など特色を記入してゲーム性を高める。活用方法はカルタと同様。